

佐倉中央ライオンズクラブ第18期（2013.7-2014.6） の運営について

1. 会長所信

この度皆様のご推挙によりまして佐倉中央ライオンズクラブ18期（2013.7～2014.6）のクラブ会長を引き受けることになりました村山であります。私はL密本会長の時代に、志津小学校から佐倉高校まで同級生の田中Lにスポンサーになっていただき平成22年2月に名誉ある当クラブの会員になりました。まだ3年余りの経験であります。就任いたしました以上、微力ではありますが、今までの人生経験を活かし、ライオンズ必携にあるライオニズムのもと、真摯に「誠実な心で」、私の能力の範囲で最善の努力をいたす覚悟であります。

17期の三役の皆さんは、当ライオンズクラブを一層発展していただき誠にありがとうございました。その功績は先日の333-C地区大会の年次大会アワードにおいて当クラブが2番目の最優秀クラブ（銀賞）の荣誉に輝きました。17期の三役に、個人アワードに輝いた2名の方々に心から敬意を表します。バトンを受け継いだ私は責任の重さを一層痛感しています。桐生前会長の手腕にはとても及びませんが、ライオンズ経験15年を超える大ベテランの皆様、15年未満の先輩同僚の皆様、最近入会した皆様、今期の幹事、会計をはじめ理事の皆様を支えていただきながら、足りないところを助けていただきながらベストを尽し次の19期につないでまいります。

私は、この3年5ヶ月の間、例会及び様々なアクティビティに参加をいたしました。この間の出席数はベスト3に入ると自負しています。ライオンズ会員の義務は参加することにあるとされていますが、これをクリアしていると思っています。特にこの1から2年、例会や理事会はもとより、地域交流や献血、福祉、環境美化等のアクティビティに参加し、「We Serve」の精神を高揚しました。加えて333-C地区大会、複合大会、OSEALフォーラム、壮年大会、三役研修会、ロバート議事法研修会、千葉県献血推進大会などにも参加しライオニズムが醸成されたと思っています。

今期（2013-2014）の333-C地区正木ガバナーは、例会の100%参加を第一のスローガンに掲げ、各クラブにそれを目指して欲しいと訴えています。そのためには楽しい例会にするよう知恵を出してくださいとのことです。しかし、当クラブは一気に出席率100%を実現するのは甚だ困難であります。18期は正会員の70%以上（平均20人以上の出席）、19期80%以上、20期90%以上を目指すことが現実的かと思えます。会員の皆様にはいろいろお忙し中とは思いますが、例会の参加をプライオリティNO1にさせていただけるようお願いいたします。あわせて楽しい例会、楽しいアクティビティの実現に努め、参加率の向上をはかりたいと思えます。

当クラブは、333-C地区今期ガバナー体制に2名が役員に名を連ねています。我々にはしっかりしたクラブ運営が求められます。ご協力をお願いします。

また、18期の1年は、創立20周年記念の準備を始める年でもあります。20年は節目の年でもあります。今までを振り返り、これからの10年の方向付けをする年と言われま

す。そこでライオンズ必携に書かれているライオニズムを再認識し、理解して、壮年、青年の皆さんのご意見をいただきながら、佐倉中央ライオンズクラブの存在を、アクティビティを見つめなおし、次の19期につなげ、20期の20周年という節目の記念行事が行い、次の10年をスタートさせる時期であります。素晴らしい青年会員の意見を採用し、壮年、特にライオンズ経験豊富なベテランの考えを尊重しながら、多くの会員の皆さんの考えを推察し、佐倉中央ライオンズクラブの全体最適を求め、今までのサラリーマン生活で培ってきたリーダーシップをはじめコミュニケーション力を活かし、一步でも当クラブが発展するよう努力することを誓い、就任の挨拶といたします。重ねて全会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

2. クラブ活動の基本方針等

(1) スローガン

「 “楽しく参加” 誠実な心で『We S e r v e』」

- ・会員は貴重な時間を割いて例会に出席するのであるから、できるだけ楽しい、有意義な例会、アクティビティにしてゆきたいという意味をこめ「楽しく参加」といたしました。
- ・私は「決定版細根譚」にある「信すなわち誠実を失っては人間失格である」の誠実を心に今日まで人生を送ってまいりました。またコミュニケーションの大事な要素である言葉力は、「言う」を「成す」ことであります。言うを成すと書いて「誠」になる、これがリーダーの基本と言われます。佐倉中央ライオンズクラブがアクティビティにご参加いただく方々に信頼される、感謝される、存在感のある「We S e r v e」を目指し、地域のリーダーの一端を果たすという意味をこめ「誠実な心」といたしました。またライオンズの名称の由来にある「ライオンは誠実さの象徴」とも一致します。

(2) 活動の基本方針

- ①楽しく参加する例会、アクティビティを実現し、出席率70%以上を目指します。
- ②3名の会員増強に努めます（正木ガバナー方針）。
- ③壮年の経験と青年の発想を融合し、例会、アクティビティの充実を図ります。
- ④ライオニズムの高揚に努め、創立20周年の準備をスタートします。
- ⑤17期の流れを受け継ぎ、19期につないでまいります。

(3) 具体的な活動の原則

- ①理事会の充実をはかる。
- ②今期は幹事を補助する事務局は置かず、上位組織や他クラブとの連絡調整、各アクティビティや行事等への参加まで事務的手続き及び調整を全ては幹事を中心に進める。
- ③例会等において、「We S e r v e」と「ライオンズヒム」を必ず行うことにより、ライオンズのモットーとライオンズの誓いを認識する。
*「私は奉仕するではなく、我々は奉仕するがライオンズの奉仕である」

- ④楽しい有意義な例会にするため、会員相互のコミュニケーションの場（近況報告、共通話題の意見交換、卓話等）、移動例会（暑気払い、ボジュレヌーボー解禁等のコミュニケーション、その他）を活用する。
- ⑥20周年記念行事は、当クラブのアイデンティある催し物等に心掛け計画準備に入る。

以上